

1 開会

副校長より

一日体験入学 参加人数について

中学3年生 147名 保護者 109名 計 256名

2

（1）一日体験入学 授業見学（9：30～10：30）

参加者

A 委員（裾野市社会福祉協議会）

B 委員（マチテラス製作所）

C 委員（PTA 会長）

D 委員（元清水西高等学校校長）

E 委員（静岡県地域づくりアドバイザー）

学校側参加者：鎌田正幸校長、大石友美副校長、稲 有子教頭、菅尾 進事務長

（2）校長あいさつ（鎌田正幸校長）

校長より

・クラウドファンディングについて

「ビジネス系列の生徒たちが、地域の企業等を介して、特産品を作りたいと考え、試作品を作るための資金集めのために8月の1か月間、保護者の了解を得て実施する。」

・教育応援基金について

「本校における使途として、好評をいただいている保育系列の親子教室の継続と、福祉介護系列の実習に必要な車いす等への使用を考えている。」

・北駿地区新構想高校について

「生徒への説明、保護者へのC-learningでの配信、本日の体験入学での中学3年生への説明を行った。」

・はごろも助成金について

「教育研究助成賞を2年連続受賞。これは、今年度に限っては本校のみ。」

（3）意見交換（感想含む）

D さん

「クラウドファンディングはターゲットを絞って、地元商店街やJA等と連携して行っているか。」

校長

「多くの専門家の意見をいただきながら、8月1日の公開を目指し、生徒が知恵を出し合って準備を進めている。生徒の顔が特定されないよう、生成AIを使っている。」

A さん

「クラファンの達成率は見込めているのか。」

校長

「ここに来るまでに、専門的なご意見、ご指導を多々いただきしており、生徒も一生懸命進めている。失敗するかもしれないというリスクもあるが、保護者からは、こういった経験をさせていただけることがありがたいとの声もある。ビジネス系列の生徒たちも楽しそうに意欲的に取り組んでいる。目標達成も大事だが、プロセスも大事にしたい。」

A さん

「ぜひ、成功させてほしい。」

Cさん

「一日体験入学の授業の様子を見学させていただいたが、在校生が積極的に活動していた。だからこそ、北駿地区新構想高校について、在校生がどう思っているのかを聞きたい。」

校長

「全校生徒に説明してから、特に校長室に質問に来た生徒はいない。本日の一日体験入学も、一学期がまだ終わっていない清水町と小山町の中学生を除いた状態で、147名の参加希望があった。本来はもう少し増えたかもしれない。」

Eさん

「北駿地区新構想高校の件については、学校は予定に沿って進めていくしかないが、裾野高校の入試はあと2回ある。裾野高校としての武器を中学3年生と保護者、ぜひ、伝えてほしい。」

校長

「裾野高校の生徒や教職員にはチャレンジする風土がある。その思いを大切にしたい。」

Dさん

「裾野高校が、生徒の安心、安全を第一に優先し、守るという姿勢はすばらしい。交通安全、青少年安全、生成AIの活用など、学校の成果以上に、土台となる生徒の安心、安全は守らなくてはいけない。」

校長

「一学期間、登下校中の自転車の事故は一件もなかった。先日も、けが人を助け、救急車到着まで応急処置をした生徒もあり、終業式でその善行を紹介した。熱中症警戒アラートの発表を、生徒、保護者に配信し、WGBTの計測も運動部等で毎日行っている。SNS関連では、ネットパットロール事業において、赴任して以来、問題として報告された事例は一件もない。」

Aさん

「さきほど一日体験入学の授業の様子を見せていただいたが、北駿地区新構想高校の報道が出ている中で、これほどの中学3年生が申し込んでいるのは、非常に驚いた。正直、昨年度より減少していると予想していたので、そう考えると裾野高校には何らかの魅力があるのではないと思う。」

Bさん

「私もこれほどの中学3年生の申し込み人数がいるとは思っておらず、正直驚いた。一連の報道があることを前提に、それでも参加しているのか。改めて地元の高校は大切だと感じた。」

Dさん

「校長先生が毎日発行されている校長通信『ナウいい裾高』は、非常にわかりやすく論理的だ。現状で学校が落ち着かないのはデメリット。校長は、生徒、教職員を落ち着かせて学校を運営する必要がある。裾野高校は昭和21年、戦後すぐに、廃校運動が起きたが、なくならなかった。そういう歴史を経て残った学校だからこそ、残していく方向で行くことはできないか。」

校長

「近隣の中学校を訪問したが、裾野高校が担ってきた役割を担う高校を沼駿地区に残せないか、という声は多い。その声を県教育委員会に届けるのが私の役目であり、すべてお伝えしている。」

Aさん

「理想と現実の間で、裾野高校を裾野市立高校として残そうとの新しい方向性があるのは、希望の光だ。」

(4) 令和8年度教育活動計画の中間報告について

副校長より

「令和8年度年間教育活動計画、中間報告および、各学年通信等については、ご一読ください。」

3 その他

諸連絡

第3回学校運営協議会について

10月30日(金)午前 五龍祭文化の部(校内発表)